

いちじほご りよう かた あんけーと
一時保護を利用された方へのアンケート

- このアンケートは東京都福祉局が、一時保護期間中の生活についての感想やご意見をお聞きするために実施するものです。いただいた感想やご意見は、今後の東京都における女性への支援のための参考にさせていただきます。
- アンケートにはお名前を記入する必要はありません。
- 記入したアンケートは、添付の封筒に入れてアンケート回収ボックスに入れてください。
- 封筒は東京都福祉局が回収し、集計します。女性相談センターの職員、区市の職員、一時保護所や施設の職員がアンケートを見ることはありません。
- アンケートの結果については、個人や施設が特定されないように集計します。また回答者ごとに掲載することもしませんので、安心してご記入ください。
- 集計した結果は、東京都のホームページ上で公表する予定です。

とうきょうとふくしきょく
東京都福祉局

かいとうのほうほうについて

質問の最後に、(あてはまるものすべてに○)、(一つに○)など、○をつける数が書いてあります。それに従って、次のように、番号に○をつけてください。

(例1) あなたの好きな魚介類は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サンマ	3. サケ
<input checked="" type="radio"/> 2. ブリ	<input checked="" type="radio"/> 4. その他 (タイ)

()の中は、具体的にお書きください。

(例2) 次のことからは、あなた自身にどのくらいあてはまりますか。AからCについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。(それぞれ一つに○)

	そう思う	そう思う どちらかと言えば	そう思わない どちらかと言えば	そう思わない
A. 私は、スポーツが好きだ	1	2	3	<input checked="" type="radio"/> 4
B. 私は、読書が好きだ	1	<input checked="" type="radio"/> 2	3	4
C. 私は、音楽鑑賞が好きだ	<input checked="" type="radio"/> 1	2	3	4

しつもん
質問はここから始まります

とい
問1 ご自身のことについて

(1) 現在の年齢について教えてください。(一つに○)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

(2) 一時保護を利用されていた期間を教えてください。(一つに○)

1. 1日～5日 2. 6日～10日 3. 11日から15日 4. 16日から20日
5. 21日以上

(3) あなたと一緒に一時保護を利用した方がいますか。いる場合は右の表にも回答してください。(一つに○)

1. なし (あなたお一人)
2. あり (あなた以外に保護された方がいる場合は右の表に記載してください。)

いっしょ ほご かたぜんいん かんけい ねんだい せいべつ おし
 一緒に保護を利用された方全員について、「あなたとの関係」「年代」「性別」を教えてください。

あてはまる番号に○をつけてください。

	あなたとの関係 (あてはまる番号に○)	年代 (あてはまる番号に○)	性別 (あてはまる番号に○)
1	あなた自身		
2	1. 子ども 2. 親 3. その他	1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	1. 男 2. 女
3	1. 子ども 2. 親 3. その他	1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	1. 男 2. 女
4	1. 子ども 2. 親 3. その他	1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	1. 男 2. 女
5	1. 子ども 2. 親 3. その他	1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	1. 男 2. 女

【記入例：あなたが小学生の娘1人と乳幼児の息子1人と一時保護を利用された場合】

1	あなた自身		
2	①. 子ども 2. 親 3. その他	1. 乳幼児 ②. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	1. 男 ②. 女
3	①. 子ども 2. 親 3. その他	①. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. その他	①. 男 2. 女

(4) あなたの現在の健康状態について教えてください (一つに○)

1. 健康状態はよい	2. どちらかといえばよい
3. どちらかといえばよくない	4. よくない

(5) 現在の通院状況について教えてください。(一つに○)
 通院している場合や通院を考えている場合は、その理由も教えてください。(ア・イ・ウ・から一つを選んで○)

1. 現在通院中である。
 ⇒ア身体的な理由・イ精神的な理由・ウ身体的な理由と精神的な理由の両方
2. 現在通院中ではないが今後通院を考えている
 ⇒ア身体的な理由・イ精神的な理由・ウ身体的な理由と精神的な理由の両方
3. 現在通院はしておらず、今後検討もしていない
4. その他 ()

問2 一時保護を利用する前の説明や支援について

(1) 一時保護を利用することになった理由について教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 住むところがみつからないため
2. 健康面等から一人暮らしには不安があるため
3. 経済的に困窮しているため
4. 夫や交際相手による暴力から逃れるため
5. 親や子どもなど、夫や交際相手以外の親族の暴力から逃げるため
6. 夫や交際相手、親、子どもなどとの折り合いが悪く、家を出たいため
7. その他 ()

(2) 一時保護所について、誰から説明を受けましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 区市町村の婦人相談員
2. 福祉事務所のケースワーカー
3. 警察の職員
4. 児童相談所の職員
5. 女性相談センターの職員
6. 女性支援をする民間団体の職員
7. その他 ()

(3) (2) の「一時保護所の説明の内容」は「一時保護所での実際の生活」と一致していましたか。(一つに○)

1. 一致していた 2. だいたい一致していた
3. かなり違っていた

3に○をつけた方にお聞きします。説明とかなり違っていた内容を具体的に教えてください。

[]

(4) 「一時保護所の説明」について、それぞれ十分に説明を受けたかを教えてください。(それぞれ一つに○)

	説明を受けた	入所前も入所後も十分に説明を受けた	入所後に十分に説明を受けた	説明を受けなかった
A. 一時保護の期間について	1	2	3	4
B. 集団生活になることについて	1	2	3	4
C. 相部屋になることについて ※相部屋でなかった方は回答の必要はありません	1	2	3	4
D. 通信機器の使用の制限があることについて	1	2	3	4
E. 通勤や通学ができないことについて	1	2	3	4
F. 外出に制限があることについて	1	2	3	4

(5) 一時保護所に入所するまでの間の警察官による説明や支援について
どのように感じましたか。(それぞれ一つに○)

1. とてもよかった
2. よかった
3. あまりよくなかった
4. よくなかった
5. 警察とはかかわっていない

(6) 婦人相談員(若しくは警察)に相談をしてから一時保護所(一時保護施設)
に入所できるまでにどのくらいかかりましたか。(一つに○)

1. 5時間以内
2. 5時間から12時間
3. 12時間から24時間(1日以内)
4. 2日以上から1週間以内
5. 1週間以上

問3 一時保護所での生活や支援についてお聞きします。

(1) 一時保護所での生活や支援について、どのように思いましたか。

(それぞれ一つに○)

	そう思う おも	どちらかというところ おも	あまりそう思わない おも	そう思わない おも
A. 食事の提供があり、寝る場所もあり、安心することができた	1	2	3	4
B. 見守ってくれる職員がいて安心することができた	1	2	3	4
C. 医師や看護師など専門的なスタッフの説明があり安心することができた	1	2	3	4
D. 生活のリズムが整ってよかった	1	2	3	4
E. 他の人がいて落ち着かなかった	1	2	3	4
F. 施設内が清潔だった	1	2	3	4
G. 職員に今後の生活について相談することができた	1	2	3	4
H. 通信機器の使用制限があり、不自由に感じた	1	2	3	4
I. 外出制限があり、不自由に感じた	1	2	3	4
J. 気分転換やリラックスに役立つグッズや活動の提供があつてよかった	1	2	3	4

➡ お子さんがいない場合は質問(3)にお進みください。

(2) お子さんと一緒に一時保護を利用された方への質問です。一時保護中のお子さんへの支援についてうかがいます。(それぞれ一つに○)

(2) -1 保育園や学校を休まなければならないことについてどう感じましたか。

1. 十分に納得した
2. ある程度納得した
3. 納得できなかった
4. どちらともいえない

納得できなかった方にお聞きします。その理由を教えてください。
()

(2) -2 一時保護を利用中のお子さんの遊びについて、どのように感じましたか。

1. 適切だった
2. もっと屋外で遊ばせたかった
3. 保護所内で遊ばせる場所を増やしてほしい

(小学生、中学生、高校生のお子さんがある方への質問です)

(2) -3 一時保護を利用中のお子さんへの学習の支援について、どのように感じましたか。

1. 適切な支援だった
2. もっと多くの学習支援を提供してほしかった
3. どちらともいえない

(乳幼児のお子さんがある方への質問です)

(2) -4 一時保護を利用中のお子さんへの保育について、どのように感じましたか。

1. 適切な支援だった
2. もっと多くの保育の支援を提供してほしかった
3. どちらともいえない

(3) 一時保護を利用中の区市の婦人相談員による支援についてどのように感じましたか。

(それぞれ一つに○)

	そう思う	どちらかというところ思う	あまりそう思わない	そう思わない
A. 必要な時に来所してくれたため十分な相談ができた	1	2	3	4
B. 悩んでいる問題への助言、支援を受けることができた	1	2	3	4
C. 不安や心配な気持ちを支えてもらえた	1	2	3	4
D. 一時保護の利用前、一時保護の利用期間中とも関係機関やサービスの案内を十分に得られた。	1	2	3	4

問4 一時保護の後、どうしていくのかという方針の決定について

今後のご自身のことを決めていくのにあたり、ご自分の意思や希望が尊重されたと感じましたか。

1. 尊重されたと感じた	2. おおむね尊重されたと感じた
3. あまり尊重されなかったと感じた	4. 尊重されなかったと感じた
5. わからない	

➡ 妊娠されていない方は、問6にお進みください。

問5 にんしんちゆう なた しつもん いちじほご りようまえ いちじほご りようちゆう 妊娠中の方への質問です。一時保護の利用前から一時保護の利用中の
しえん こんご き 支援、今後のことについてお聞きします。 ひとつ まる (それぞれ一つに○)

	そう おも 思う	どちらか という とそう おも 思う	あまり そう おも 思わない	そう おも 思わない
A. <small>いちじほご りよう まえ にんしん わ</small> 一時保護を利用する前、妊娠していることが分かったがどこ <small>そうだん</small> に相談すればいいのかわからなかった	1	2	3	4
B. <small>いちじほご りよう まえ にんしん こんご</small> 一時保護を利用する前、妊娠していることや今後どうする かということについて <small>くし ふじんそうだんいん あんしん そうだん</small> 区市の婦人相談員に安心して相談 することができた	1	2	3	4
C. <small>こんご いちじほごしよ しょくいん</small> 今後どうするかということについて一時保護所の職員に <small>あんしん そうだん</small> 安心して相談することができた	1	2	3	4
D. <small>こんご あんしん そうだん ひと</small> 今後、どのようにすればいいのか、安心して相談できる人 がいない	1	2	3	4
E. <small>しゅつさんご ふあん おも</small> 出産後どのようにすればいいのかまだ不安に思っている。	1	2	3	4

問6 さいご じよせい しえんしさく かんしてとうきょうと ごいけん 最後に、女性への支援施策に関して東京都へのご意見がありましたら、
じゆう 自由に記載してください。

あんけーと いじょう ふうとう い ふう アンケートは以上です。封筒に入れて封をしてから、アンケートの回収ボックスに入れて
ごきょうりょく ください。ご協力いただきありがとうございました。

ふじん ほ ごしせつ にゆうしょ かた あんけーと 婦人保護施設に入所されている方へのアンケート

おねがい
お願い

- このアンケートは、東京都福祉局が、婦人保護施設に入所されている方に、施設での生活についての感想やご意見をお聞きするために実施するものです。いただいた感想やご意見は、今後の東京都における女性への支援のための参考にさせていただきます。
- アンケートには、お名前を記入する必要はありません。
- 記入したアンケートは、封筒に入れて封をしてから、アンケート回収ボックスに入れてください。
- 封筒は、東京都福祉局が回収し、集計します。婦人保護施設の施設長や職員がアンケートの中を見ることはありません。また、一つ一つのアンケートの回答内容が公開されることはありませんので、自由に記入してください。
- アンケートの結果については、個人や施設が特定されないように集計します。また、回答者ごとに掲載することもしませんので安心してご記入ください。
- 集計した結果は、東京都のホームページ上で公表する予定です。

とうきょうとふくしきょく
東京都福祉局

回答方法について

それぞれの質問について、あなたが一番近いと思った答の選択肢に○をつけてください。質問の最後に、(あてはまるものすべてに○)、(一つに○)など、○をつける数が書いてあります

<記入例①>

(例1) あなたの好きなものを教えてください (あてはまるものすべてに○)。

ア. 読書	<input checked="" type="radio"/> イ. スポーツ	ウ. 映画鑑賞	エ. ドライブ
オ. 旅行	カ. 料理	<input checked="" type="radio"/> キ. その他 (音楽)	

()の中は、
 具体的に書きお書きください。

<記入例②>

(例2) あなたの事について教えてください (当てはまる番号に○をつけてください)。

	そう感じる	どちらかと言えばそう感じる	どちらかと言えばそう感じない	そうは感じない	わからない
A. 私はマンガが好きだ	1	<input checked="" type="radio"/> 2	3	4	5
B. 私の好きな料理はカレーだ	<input checked="" type="radio"/> 1	2	3	4	5

質問はここから始まります

問1 ご自身のことについて教えてください。

(1) 現在の年齢(年代)について教えてください(あてはまるもの1つに○)。

ア. 20歳未満	イ. 20歳代	ウ. 30歳代	エ. 40歳代
オ. 50歳代	カ. 60歳代	キ. 70歳以上	

(2) 入所した時期はいつですか。分かる範囲で教えてください。(年号の番号に○をつけて、

年・月に数字をご記入ください

ア. 昭和 イ. 平成 ウ. 令和 年 月

(3) 現在、お仕事はなさっていますか(あてはまるものすべてに○)。

ア. 施設内での作業を行っている	イ. 施設の外で働いている	
ウ. 仕事を休んでいる	エ. 仕事を探している	オ. 就学中

(4) 現在、健康状態はいかがですか(あてはまるもの1つに○)。

ア. 良い	イ. どちらかといえばよい	ウ. どちらかといえばよくない	エ. よくない
-------	---------------	-----------------	---------

(5) 現在の通院状況について教えてください(あてはまるもの1つに○)。

通院している場合や通院を考えている場合は、その理由も教えてください

(1. 2. 3のあてはまるもの1つに○)

ア. 現在通院中である ⇒ 1 身体的な理由・2 精神的な理由・3 身体的な理由と精神的な理由の両方
イ. 現在は通院中ではないが、今後通院を考えている ⇒ 1 身体的な理由・2 精神的な理由・3 身体的な理由と精神的な理由の両方
ウ. 現在通院はしておらず、今後も考えていない
エ. その他 ()

問2 婦人保護施設への入所が決定するまでのことについてお聞きします

(1) 婦人保護施設に入所することになった理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)。

ア. 住むところがみつからないため
イ. 健康面等から一人暮らしには不安があるため
ウ. 経済的に困窮しているため
エ. 夫や交際相手による暴力から逃れるため
オ. 親や子どもなど、夫や交際相手以外の親族の暴力から逃げるため
カ. 夫や交際相手、親、子どもなどとの折り合いが悪く、家を出たいため
キ. その他 ()

(2) 婦人保護施設への入所を考える際、区市の婦人相談員や女性相談センターの職員等から婦人保護施設について十分な説明を受けましたか(あてはまるもの1つに○)。

ア. そう思う	イ. どちらかと言えばそう思う
ウ. どちらかと言えばそう思わない	エ. そう思わない

(3) (2) の説明について、理解することができましたか (あてはまるもの1つに○)。

ア. 理解できた

イ. どちらかと言えば理解できた

ウ. あまり理解できなかった

エ. 理解できなかった

↓

↓

【この質問に対してウ・エに○をつけた方にお聞きします】

具体的にどういった点について理解することが難しかったですか。

(

)

(4) 婦人保護施設への入所に当たって、事前に見学ができましたか。

(あまるもの1つに○)。

ア. 見学できた

イ. 見学しなかった

↓

【この質問に対して、アに○をつけた方にお聞きします】

見学できたことによって、どのような点がよかったですか。

[

]

(5) 「^{ふじん ほごせつ}婦人保護施設での^{じっさい}実際の暮らし」と「^{にゅうしょまえ}入所前の^{くし}区市の^{ふじんそうだんいん}婦人相談員や^{じょせいそうだんせんたー}女性相談センターの^{しょくいんとう}職員等による^{ふじん ほごせつ}婦人保護施設に関する^{かん}説明内容」とは、どのくらい^{いっち}一致していましたか（あてはまるもの1つに^{まる}○）。

ア. ^{いっち}一致していた

イ. ^{いっち}だいたい一致していた

ウ. ^{ちが}かなり違っていた

↓

【この^{しつもん}質問に対して^{まる}ウに○をつけた方にお聞きします】

^{せつめい}説明と^{ちが}かなり違っていた^{ないよう}内容を^{ぐたいてき}具体的に^{おし}教えてください。

[]

問3 ^{ふじん ほごせつ}婦人保護施設の^{かんきょう}環境について^きお聞きします

(1) ^{ふじん ほごせつ}婦人保護施設の^{かんきょう}環境について、^よ良いと^{かん}感じるものを^{おし}教えてください（あてはまるものすべてに^{まる}○）。

ア. ^{しせつない}施設内でくつろぐことができる

イ. ^{しせつない}施設内の^{せいけつ}清潔さ

ウ. ^{しせつない}施設内が^{しず}静かであること

エ. ^{ふる}お風呂の^{つか}使いやすさ

オ. ^とトイレの^{つか}使いやすさ

カ. ^{しょくじ}食事の^{ていきょう}提供があること

キ. ^{つうしんき}通信機器の^{しよう}使用

ク. ^{しせつない}施設内の^{けいびたいせい}警備体制

ケ. ^{ほか}その他 ()

(2) 婦人保護施設の環境について、改善してほしいと感じるものを教えてください（あてはまるものすべてに○）。

ア. 施設内でくつろぐことができない

イ. 施設内の清潔さ

ウ. 施設内の騒音

エ. お風呂が使いにくい

エ. トイレが使いにくい

オ. 自炊ができない

カ. 通信機器の使用

キ. 施設内の警備体制

ク. その他（

）

問4 施設における支援について

(1)－1 施設における支援について、どのように感じているか教えてください

(それぞれ当てはまる番号に○をつけてください)。

	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらかといえばそう感じない	そうは感じない	わからない
A. 落ち着いた環境で生活を立て直せる	1	2	3	4	5
B. 栄養バランスのとれた食事をとることができる	1	2	3	4	5
C. 医療相談を受けることができる	1	2	3	4	5
D. 心理相談を受けることができる	1	2	3	4	5
E. 職員を信頼して話すことができる	1	2	3	4	5
F. 施設内のプログラムや行事が充実している	1	2	3	4	5
G. 病気やケガなど、体調が悪い時の職員の対応が適切である	1	2	3	4	5
H. 就職に向けた支援を受けることができる	1	2	3	4	5
I. 料理や清掃など、日常生活のための練習ができる	1	2	3	4	5
J. 夫や親族との関係に関する相談をすることができる	1	2	3	4	5
K. 病院や裁判所へ同行支援がある	1	2	3	4	5
L. 今後の生活や公的手続の情報提供がある	1	2	3	4	5
M. 施設内での人間関係が良好である	1	2	3	4	5

(1) - 2 (1) - 1 で回答いただいたことの他に、施設での支援について役に立っていることや良いと感じていることを教えてください。

(2) 施設において、もっとこういう支援をしてほしいというものはありますか（あてはまるものすべてに○）。

ア. 金銭管理（お金のやりくり）方法を学ぶ支援

イ. 退所後に必要な資金を貯めるための支援

ウ. 具体的な就労に向けた支援

エ. 高卒認定資格（高校卒業相当の資格）を取得する支援

オ. 対人関係（コミュニケーションの取り方）の支援

カ. 医療機関受診の支援

キ. 被害から回復するための支援

ク. その他（ ）

(3)あなたは、現在、施設内の作業を行っていますか（あてはまるもの1つに○）。

ア. 行っている ⇒ 質問 (4) へ

イ. 以前は行っていたがやめた ⇒ 質問 (4) へ

ウ. 行っていない ⇒ 質問 (5) へ

エ. その他 ()

(4) - 1 施設内の作業についてどのように感じますか、または感じていましたか
 (それぞれあてはまる番号に○をつけてください)。

	そう思う おも	どちらかと言えばそう思う おも	あまりそう思わない おも	そう思わない おも
A. 他の入所者と交流するよい機会になる	1	2	3	4
B. 作業の時間が楽しみだ	1	2	3	4
C. 就職に結びつく機会になる	1	2	3	4
D. いろいろな種類の作業がある	1	2	3	4
E. 収入が得られる機会になる	1	2	3	4

(4) - 2 作業について、そのほかに感じていること（感じていたこと）があれば教えてください。

(5) 施設退所に向けて、不安なことはどのようなことですか（あてはまるものすべてに○）。

ア. 金銭管理（お金のやりくり）	イ. 就職	ウ. 就労の継続
エ. 対人関係	オ. ひとりでの生活	
カ. 心や体の健康状態	キ. 退所後の被害	
ク. その他（		）

問5 女性相談センターによる支援についてお聞きします。

(1) 女性相談センターによる支援について、役に立ったり良かったと感じることを教えてください（あてはまるものすべてに○）。

ア. 法律等の専門的な相談への支援	
イ. 婦人保護施設の退所後の生活に向けた支援	
ウ. 不安や悩みごとの相談	エ. 心理面接
オ. 医療機関受診の支援	
カ. その他（	）

(2) 女性相談センターからこういう支援を受けたいと思うことがあれば教えてください（あてはまるものすべてに○）。

ア. 法律等の専門的な相談への支援	
イ. 婦人保護施設の退所後の生活に向けた支援	
ウ. 不安や悩みごとの相談	エ. 心理面接
オ. 医療機関受診の支援	
カ. その他（	）

問6 区市の婦人相談員（役所にいる婦人相談員）による支援についてお聞きします。

(1) 区市の婦人相談員による支援について、役に立ったり良かったと感じることを教えてください（あてはまるものすべてに○）。

ア. 不安や悩みごとの相談

イ. 女性相談センターや婦人保護施設に関する情報提供

ウ. 利用できる福祉制度などに関する情報提供

エ. 一緒に同行してサポートする支援

オ. 医療機関受診への支援

カ. 婦人保護施設からの退所に向けた支援

キ. 法律やDV対策など専門的な相談

ク. その他（ ）

(2) 区市の婦人相談員からこういう支援を受けたいと思うことがあれば教えてください（あてはまるものすべてに○）。

ケ. 不安や悩みごとの相談

コ. 女性相談センターや婦人保護施設に関する情報提供

サ. 利用できる福祉制度などに関する情報提供

シ. 一緒に同行してサポートする支援

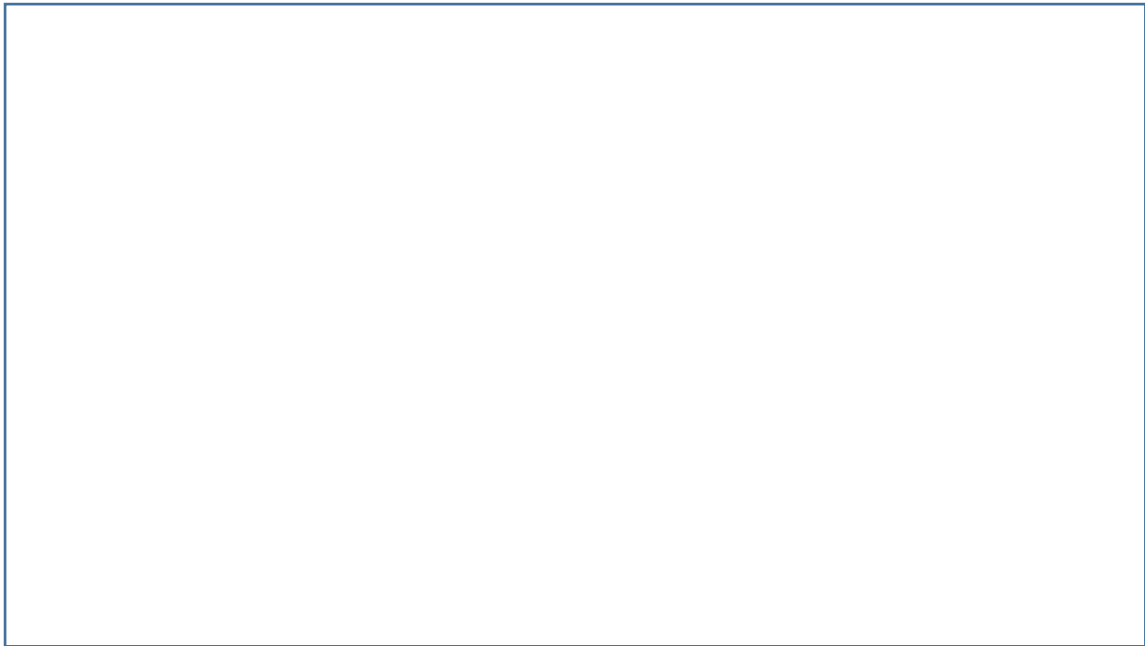
ス. 医療機関受診への支援

セ. 婦人保護施設からの退所に向けた支援

ソ. 法律やDV対策など専門的な相談

その他（ ）

問7 最後に、女性への支援施策に関して東京都へのご意見がありましたら、自由に記載してください。



アンケートは以上です。封筒に入れて封をしてからアンケート回収ボックスに入れてください。ご協力いただきありがとうございました。

都における困難な問題を抱える女性の実態調査・調査票(区市町村)

自治体名		
アンケート記入者	部署名	
	氏名	
	メールアドレス	
	電話番号	

調査内容

【女性支援の種類】(1) 貴自治体では、女性のみを対象とした支援策として、どのような種類の相談を実施していますか。(複数回答可)					
①電話相談		②来所相談		③オンライン相談	
④SNS相談					
⑤出張相談		⑥その他	その他の場合は下段に具体的に記載してください		
【シェルター及び一時保護機能】(2) - ① 貴自治体では、「困難な問題を抱える女性」が利用できる宿泊可能なシェルターや一時保護機能をどこに確保していますか。(複数回答可)					
①母子生活支援施設		②老人福祉施設		③障害者総合支援法に基づく施設・事業所	
④救護施設		⑤宿所提供施設		⑥無料低額宿泊所	
⑦民間シェルター		⑧特に確保していないが宿泊代は支給している。		⑨特に確保していない。宿泊代も支給していない。	
⑩その他(右の欄に具体的に記入してください)					
(2) - ② 貴自治体では、「困難な問題を抱える女性」のうち、どのような女性が利用できるシェルターや一時保護機能が不足していますか。現在、シェルターや一時保護機能を確保していない自治体もご回答ください。(複数回答可)					
①若年女性を対象としたシェルター		②妊産婦を対象としたシェルター		③母子を対象としたシェルター	
④高齢者を対象としたシェルター		⑤精神障害のある方を対象としたシェルター		⑥身体障害のある方を対象としたシェルター	
⑦外国籍の方を対象としたシェルター		⑧中学生以上の男児の同伴可能なシェルター		⑨性自認が女性であるトランスジェンダーの方も入所可能なシェルター	
⑩その他(右の欄に具体的に記入してください)					⑪不足しているシェルターはない
(2) - ③ (2) - ②で不足するシェルターがあると回答した自治体にお聞きます。シェルターを確保できない理由を教えてください。(複数回答可)					
①シェルターを運営する団体がいない		②費用負担する余裕がない			
③その他→(具体的に右の欄に記入してください)					

【自立支援】(3) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」においては、「支援対象者が目指すべき自立は、個々の者の状況や希望、意思に応じて、必要な福祉的サービス等も活用しながら、安定的に日常生活や社会生活を営むことを含むものであり、『本人の自己決定』及び『自己選択』が重要な要素である。支援にあたっては、支援対象者が自己決定できるよう十分な情報提供に基づく、丁寧なソーシャルワークを行い、支援対象者に寄り添い一緒に考えていく姿勢が求められる。」と記載されています。
 また自立支援の内容として①医学的また心理的支援 ②生活支援 ③日中活動の支援 ④居住支援 が挙げられています。
 上記の自立支援を行うために、貴自治体において、現在不足しており、今後必要と考えられるものは何ですか。(複数回答可)

① 婦人相談員の増員、専任化等、体制強化		② 婦人相談員の人材育成		③ 地域で生活する中高年女性が利用できる福祉サービス	
④ 地域で生活する若年女性が利用できる福祉サービス		⑤ 地域で生活するひとり親家庭が利用できる福祉サービス		⑥ 産前産後に利用できる入所型施設	
⑦ 産前産後に利用できる通所型施設		⑧ 性暴力、性的虐待等の被害に対応する心理的ケアのノウハウ		⑨ その他(下の欄に具体的に記入してください)	

【民間団体※との連携】(4) - ① 貴自治体には、困難な問題を抱える女性を支援している民間団体はありますか。
 ※民間団体とは公の機関ではない団体をここでは指しています。社会福祉施設や社会福祉事業等を運営する社会福祉法人等も含まれます。

① ある		② ない		③ わからない(把握していない)	
------	--	------	--	------------------	--

②ない若しくは③わからない(把握していない)と回答した場合は、【庁内連携】(5) - ①の質問にお進みください。

【民間団体との連携】(4) - ② (4) - ①で「①ある」と回答した自治体にうかがいます。貴自治体では、困難な問題を抱える女性を支援している民間団体と連携※していますか。

※連携とは委託や補助、協定等何らかの公的なつながりがあるだけでなく、アウトリーチをした女性を自治体の窓口連れてくるといった女性を支援するうえで何らかのつながりのある団体をここではいいます。

① 連携している		連携している団体の数を右側の欄に記入してください。	
② 連携していない		連携していない場合は、【庁内連携】(5) - ①の質問にお進みください。	

(4) - ③ (4) - ②で「①ある」回答した自治体にお聞きします。貴自治体と当該団体の関係は次のどれにあたりますか。該当する団体数を数字でをご記入ください。	委託・補助		協定		その他(団体の自主事業を含む)	
---	-------	--	----	--	-----------------	--

(4) - ④「委託・補助」をしている団体の種別について記入してください。該当する団体数を数字でをご記入ください。

① 幅広い年代の女性支援を行う団体		② 若年被害女性等支援団体		③ DV被害者支援団体	
④ 性暴力被害者支援団体		⑤ 妊産婦支援団体		⑥ 無料低額宿泊所	
⑦ 自立援助ホーム		⑧ 保護施設(救護施設・更生施設・宿所提供施設)		⑨ 外国人の支援団体	
⑩ 母子生活支援施設		⑪ その他		→(具体的に)	

(4)－④「協定」を締結している団体の種別について記入してください。該当する団体数を数字でのご記入ください。				
①幅広い年代の女性支援を行う団体		②若年被害女性等支援団体		③DV被害者支援団体
④性暴力被害者支援団体		⑤妊産婦支援団体		⑥無料低額宿泊所
⑦自立援助ホーム		⑧保護施設(救護施設・更生施設・宿所提供施設)		⑨外国人の支援団体
⑩母子生活支援施設		⑪その他		→(具体的に)
(4)－④「その他」(団体の自主事業を含む)の団体の種別について記入してください。該当する団体数を数字でのご記入ください。				
①幅広い年代の女性支援を行う団体		②若年被害女性等支援団体		③DV被害者支援団体
④性暴力被害者支援団体		⑤妊産婦支援団体		⑥無料低額宿泊所
⑦自立援助ホーム		⑧保護施設(救護施設・更生施設・宿所提供施設)		⑨外国人の支援団体
⑩母子生活支援施設		⑪その他		→(具体的に)
(4)－⑤ (4)－②で「①ある」と回答された自治体にお聞きします。民間団体と連携して相談支援を行うにあたって、どのような課題がありますか。連携している民間団体の数が複数であっても、総じて課題と考えることについてお答えください。【複数回答可】				
①自治体における予算の不足		②自治体と民間団体との間の情報共有の不足		③自治体と民間団体との間で支援にあたっての考え方のすり合わせができていないなど連携のノウハウの不足
④委託料や補助金の支給にあたっての事務処理等		⑤その他(下の欄の具体的に記入してください)		
⑤課題はない				
【庁内連携】(5)－①困難な問題を抱える女性への支援は、児童福祉、母子福祉、障害者福祉、高齢者福祉、生活困窮者支援、生活保護等の制度の実施機関と連携する必要がありますが、婦人相談員を配置する部署の職員と自治体内のそれらの実施機関(部署)はどのように連携をとっていますか。(複数回答可)				
①定期的に関係者が参加する会議を行っている。		②随時、職員同士が情報を共有している。		③必要な情報を共有するシステムが庁内で整備されている。
④その他		→(具体的に右の欄に記入してください)		
(5)－② (5)－①「定期的に関係者が参加する会議を行っている」を回答した自治体にお聞きします。当該会議には婦人相談員も参加していますか。				
①参加している		②参加していない		③婦人相談員以外の職員が参加しており、その職員が必要な情報共有を行う
【医療機関や精神保健福祉分野との連携】(6)－①貴自治体と精神科病院との連携の状況について教えてください。(複数回答可)				
①当日緊急で受診可能な病院がある		②精神的な課題のある方への支援について随時相談できる病院がある		
③その他		その他の場合右の欄に具体的に記入してください		④連携している精神科病院はない。

(6)-② 貴自治体と産婦人科病院との連携の状況について教えてください。(複数回答可)					
① 当日緊急で受診可能な病院がある		② 妊産婦の支援について随時相談できる病院がある			
③ その他		その他の場合右の欄に具体的に記入してください		④ 連携している産婦人科病院はない。	
(6)-③ 貴自治体では、自傷他害等の精神症状や身体疾患があるなど医療面の理由で、女性相談センターから一時保護の受入れが難しいと言われたことがありますか。(複数回答可)					
① ある(ある場合は下の欄に具体的な理由を記載してください)		② ない		② ない場合は、(6)-⑤の質問にお進みください	
(6)-④ 医療面の課題として、どういう対策や支援があるといいと考えますか。					
① 受診先の紹介		② 入院先の紹介		③ 精神科ケースについて相談できる専門機関の確保	
④ 医療機関での保護の実施		⑤ その他		その他の場合は下の欄に具体的な内容を記入してください。	
(6)-⑤ 貴自治体では、困難な問題を抱える女性への支援にあたり、この2-3年の間に東京都立(総合)精神保健福祉センターを利用したことがありますか。					
① ある		② ない		② ない場合は、(7)-①の質問にお進みください	
(6)-⑥ 東京都立(総合)精神保健福祉センターを利用したことがある自治体にお聞きます。どのような事業を利用しましたか。					
① 相談支援事業を利用		② 依存症に関する相談、支援を利用		③ 精神科デイケアを利用	
④ 短期宿泊事業、一時入所事業を利用		⑤ その他		(その他の場合下の欄に具体的な内容を記入してください)	
【婦人相談員】(7)-① 婦人相談員の配置人数、常勤・非常勤、兼務の状況について教えてください。					
○ 配置人数		人	うち常勤		人
				非常勤(会計年度任用職員)※	
うち、母子・父子自立支援員と兼務		人	子ども家庭支援センター職員と兼務		人
生活保護のケースワーカーと兼務		人	その他と兼務		人
				→(具体的に)	
専任(兼務なし)		人			
※非常勤(会計年度任用職員)について		うち月額報酬による職員		人	うち時間単価による職員
					人
(7)-② 婦人相談員の配置場所を教えてください。					
① 福祉事務所		② 児童福祉部門		③ 配偶者暴力相談支援センター	
④ 男女平等参画部門					
⑤ その他		→(具体的に)			

(7)-③ 貴自治体では、今後、婦人相談員の配置について、どのような方向性が必要でしょうか。			
①増員する方向性		②減員する方向性	③現状維持
②減員する方向性若しくは③現状維持の場合は(7)-⑤の質問にお進みください。			
(7)-④ (7)-③で増員する方向性が必要と回答した自治体にお聞きます。どのような増員を検討しますか。(複数回答可)			
①常勤の増員		②非常勤の増員	③専任の増員
④兼務職員の増員			
(7)-⑤ (7)-③の質問で回答した婦人相談員の配置に関する方向性を考えている理由を教えてください。(複数回答可)			
①困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行される予定であり、女性への支援を充実させる必要があるため		②女性の相談件数が増えているため	
③女性の相談件数が減っているため		④従事する人材が確保できないため	
⑤相談内容が複雑で多様化、複合化しているため		⑥その他(具体的な理由を下の欄に記入)	
(7)-⑥ 貴自治体では、婦人相談員がケースワークや関係機関の調整等で判断に迷う場合、誰に助言を求めようとしていますか。(複数回答可)			
①同僚		②上司	③別の自治体の婦人相談員
④女性相談センターの職員		⑤その他(相談先を下の欄に記入)	
(7)-⑦ 貴自治体における婦人相談員による女性支援において、どのような課題がありますか。(複数回答可)			
①人材育成		②人材の定着	③人材確保
④女性支援に精通した上司がおらず、スーパーバイズの仕組みがない。			
⑤課題はない		⑥その他	⑥その他を選択した場合は、下の欄にその内容を記入してください。
(7)-⑧ 貴自治体では、婦人相談員に対し、どのようなメンタルヘルスケアを提供していますか。(複数回答可)			
①婦人相談員のスーパーバイザーを設置している		②他の職種も利用するメンタルヘルスケアの窓口を活用している	
③上司等が適宜、悩みや困りごとを傾聴するよう努めている		④その他(具体的な内容を下の欄に記入)	
⑤特に実施していない			

【女性相談センター】(8)－① 女性相談センターに求める支援について教えてください。(複数回答可)				
① 来所相談への充実		② 電話相談の充実		③ 外来での心理アセスメントの実施
④ 一時保護所への円滑な入所の促進		⑤ 一時保護期間中の支援の充実		⑥ 婦人保護施設への円滑な入所の促進
⑦ 女性支援事業の普及啓発		⑧ 婦人相談員等の区市町村職員に対する研修		
⑨ 支援が困難なケースへの助言		⑩ その他(具体的な内容を下の欄に記入)		
<p>(8)－② 女性相談センターにおける一時保護においては、「女性相談センター運営要綱」により、現行、次の除外要件があります。①疾病のため医療機関に入院し医療を受ける必要のある者 ②心身の障害により常時介護を要する者 ③精神障害、薬物常用等により集団生活に支障をきたすおそれのある者 本要件について具体的にこういった部分を拡大してほしいというものがありましたら、下記に記入してください。</p>				
① 特に一時保護の受入れに関して要望はない		② 上記受入れ要件に関して要望がある。(下の欄に具体的な内容を記入してください)		
<p>(8)－③ 女性相談センターとの連携で課題に感じていることを教えてください。(複数回答可)</p>				
① 必要な助言、情報を得ることが難しい		② 一時保護の受入時に求められる情報量が多い		③ 一時保護所での生活の制限が多い
④ 課題に感じていることはない		⑤ その他		その他の場合は下の欄に具体的な内容を記入してください
<p>【婦人保護施設】(9) 婦人保護施設に求める支援について教えてください。(複数回答可)</p>				
① 心理的ケア・カウンセリング		② 基本的な生活習慣の習得		
③ 休息・心身の回復		④ 生活技術(調理・掃除等)の習得		
⑤ 金銭管理の補助		⑥ 対人スキルの習得		
⑦ 健康管理への支援(服薬管理・定期的な健康診断等)		⑧ 医療機関への受診同行		
⑨ その他の医療的なケア		→(具体的に右の欄に記入)		
⑩ ハローワーク等就労支援機関への同行		⑪ 就労技術の獲得支援、資格取得の支援		
⑫ 高校卒業資格認定資格試験への支援		⑬ 入所者が高等学校や専門学校に通う場合の通学にあたっての支援		
⑭ その他		→(具体的に)		
<p>【支援調整会議】(10)－① 貴自治体では、自治体が主催する支援調整会議を設置する予定はありますか。</p>				
① 設置する予定		② 設置の予定はない		③ 既存の会議を活用予定
				④ ②設置の予定はないと回答した場合は(10)の質問にお進みください

(10)－② (10)－①で支援調整会議を①設置する予定 ③既存の会議を活用予定 と記載した自治体にお聞きします。支援調整会議は「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な方針」において「代表者会議」「実務者会議」「個別ケース検討会議」の各段階に分けて実施することが考えられるとされていますが、どの会議種別を開催予定ですか。(複数回答可)

①代表者会議	<input type="checkbox"/>	②実務者会議	<input type="checkbox"/>
③個別ケース検討会議	<input type="checkbox"/>	④特に会議種別を分けて開催する予定はない	<input type="checkbox"/>

(11) 貴自治体において、「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の策定の予定はありますか(区市町村における計画策定は努力義務となっております)。

① 策定予定である	<input type="checkbox"/>		
①-1 単独で策定	<input type="checkbox"/>		
①-2 関連の深い他の計画と一体で策定	<input type="checkbox"/>	一体で作成する計画名 →	<input type="text"/>
② 未定・策定予定なし・その他	<input type="checkbox"/>	その他の場合、詳細→	<input type="text"/>

【自由意見】(12)新法施行に向けての課題や意見等があれば御記入ください(自由記述)。
 ※婦人相談員の配置に関する今後の方向性、現在地保護への考え、婦人保護施設に居住地特例がないことへの考え、婦人保護施設が措置制度であることについての考え等についてももしもご意見があれば、本欄に記入してください。

婦人保護施設退所者ヒアリング

「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の検討に当たり、婦人保護施設での生活や支援、退所後の支援について、ご回答ください。

1 ご自身のことについて

差し支えなければ、ご自身の年代(20代後半・30代前半など)を教えてください。

2 婦人保護施設で暮らしていた期間について教えてください。

(1) 婦人保護施設に入所したのはいつですか。 ____年 ____月

(2) 退所したのはいつですか。 ____年 ____月

3 婦人保護施設への入所が決定するまでのことについて教えてください。

(1) はじめに、婦人相談所の一時保護所を利用した頃のことをお聞きします。

① 一時保護所の利用について、事前に説明を受けたと思います。

説明は分かりやすかったですか。

② 説明を聞いて心配なことはありましたか。それはどのようなことですか。

あるいは、もっとこのような点を説明しておいてほしかったと思うことは、どのようなことでしょうか。

(2) 次に、婦人保護施設への入所についてお聞きします。

① 婦人保護施設について、どのような説明を受けましたか。

婦人保護施設への入所以外の行先についても説明や提案がありましたか。

ご自分の希望を聞いて、それに沿った提案でしたか。入所にあたり、自分の意思が尊重されたと感じられましたか。

② 施設についての事前説明は分かりやすかったですか。

施設でのルールや生活についての説明はありましたか。

③ 実際に入所してみて、事前の説明と異なっていて戸惑ったことはありますか。それはどのようなことですか。

あるいは、婦人保護施設について、もっとこのような点を説明しておいてほしかったと思うことはどのようなことでしょうか。

(3) 一時保護所から婦人保護施設に入所するまでの間、もっとこのような対応があったらよかったと思う点や、改善して欲しい点などはありますか。

4 婦人保護施設での生活や支援について教えてください。

(1) はじめに、婦人保護施設的环境面について感じたことをお聞きします。

① 居室について、実際に生活してみてどのように感じましたか。よかった点や改善してほしかった点がありますか。

②共有スペース(風呂、トイレ、食堂など)について、利用してみてどのように感じましたか。良かった点や改善してほしい点はありますか。

(2)次に、婦人保護施設で過ごしていた時の暮らしについて感じたことをお聞きします。

①楽しかったり、よかったなと感じたりしたことはありますか。これは改善された方がいいなと思ったことはありますか。それはどのようなことですか。

②規則やルールについて、どのように感じましたか。よかった点や改善してほしい点はありますか。

(3)施設での内作業について、参加していましたか。

作業をしてみて、どのように感じましたか。よかった点や改善してほしい点はありますか。

(4)婦人保護施設の支援について、お聞きします。

①就労するために施設からはどのような支援がありましたか。それはあなたの役に立ちましたか。それはどのような点ですか。

②生活面への支援は、あなたの役に立ちましたか。それはどのような点ですか。

③健康管理への支援は、あなたの役に立ちましたか。それはどのような点ですか。

④心理職などの専門職によるサポートはありましたか。

⑤職員の方からのサポートで助かったこと、よかったことなども教えてください。

このようなサポートもあったらよかったと思う点はありますか。

⑥困ったときに職員に相談したいと思いましたか。また、いつでも相談できる環境でしたか。

(5)婦人保護施設入所中の女性相談センターの婦人相談員の支援について、良い点・改善して欲しかった点などがありますか。

女性相談センターの婦人相談員が間に入ることで、調整や手続きがスムーズに進んだと感じることがありましたか。それはどのようなことですか。

(6)婦人保護施設に入所して良かったと思いますか。

入所期間はちょうど良かったと思いますか。「もっと早く退所したかった」または「もっと長く入所していたかった」と思うこともありますか。

(7)その他、婦人保護施設入所中のことについてご意見等があれば教えてください。

5 施設退所後の生活や支援について教えてください。

(1)退所後、施設とどのような関りがありますか。

施設に訪問することがある・職員が家庭訪問をする・施設の行事に参加するといったことはありますか。

(2)退所後も施設との関りがあることについてよかった点や役に立っていることはありますか。それはどのようなことですか。

(3) - 1 現在の生活の状況を教えてください。(3) - 1の回答によって、次の(3) - 2の質問内容は変わります。

(3) - 2 仕事をされている方について

差支えなければどのようなお仕事をされているのか教えていただけますか。そのお仕事は、どのようなきっかけで、いつから始められたのでしょうか。

(3) - 2 求職中の方について

どういった仕事につきたいといった希望はありますか。求職あたり、区市の婦人相談員や婦人保護施設の支援はありますか。どういった支援を受けたいという希望はありますか。

(3) - 2 通院をしながら自宅療養をしている方について

退所してからの状況の変化はありますか。

(3) - 2 デイケアなどに通っている方について

退所してから現在まで生活の変化はありましたか。今後はこのようにしていきたいといった希望はありますか。

(4)現在、相談したいときにどうしていますか。決まった相談先や相談できる人がいますか。

(5)現在、困っていることや必要な支援があれば教えてください。

現在、施設の職員からサポートして欲しいことはどんなことですか。

役所などからの、公的なサポートが欲しい点はありますか。

施設や行政以外から必要な支援はありますか。

婦人保護施設ヒアリング

「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の検討に当たり、貴施設における女性支援についての取組等について、ご回答ください。

1 一時保護委託について

- (1)「困難な問題を抱える女性への支援のための施策に関する法律施行規則」において一時保護ができる場合の要件が規定されましたが、一時保護の受入れにあたって課題となることはどのようなことですか。(ソフト・ハードを含む)
- (2)同伴児童への支援内容、課題についてお答えください。
- (3)通信機器の利用状況、課題についてお答えください。
- (4)通勤・通学を可能にする場合の課題についてお答えください。
- (5)DVシェルターとしての秘匿性を確保するために、どのような対策や工夫をされているかお答えください。
- (6)その他、一時保護委託についての課題と対応策についてお答えください。

2 婦人保護施設への入所（措置決定）について

- (1)現在の入所決定の方法や手続きについて、利点や課題についてどのように考えているかお答えください。
- (3)一時保護所を経ないで婦人保護施設への一時保護委託から直接その委託施設に入所する、いわゆる直接入所について、利点や課題についてどのように考えているかお答えください。
- (4)事前に、婦人保護施設について婦人相談員から入所者に対してどのような説明があるといいといったことがありますか。

3 婦人保護施設の支援について

- (1)生活支援の内容、課題と対応策についてお答えください。
- (2)内作業の内容、課題と対応策についてお答えください。
- (3)就労支援の内容、課題と対応策についてお答えください。
- (4)被害回復支援の内容、課題と対応策についてお答えください。
- (5)自立にむけた支援の内容、課題と対応策についてお答えください。

4 退所後の支援（アフターケア）について

支援内容、課題と対応策について教えてください

5 入所者について

- (1)入所中に見られる利用者の変化で、(支援者が)良かったと感じるものはどのようなものですか。そのような変化が見られる要因はどのような支援によるものと考えられますか。
- (2)入所中の利用者からの要望にはどのようなものがありますか。その要望に対しどのように対応し

ていますか。

- (3) 婦人保護施設の入所期間について、あらかじめ期間の定めがあったほうがよいと思いますか。そのような設定はしないほうがよいと思いますか。その理由も教えてください。
- (4) 婦人保護施設での支援が困難な場合はありますか。理由とともに教えてください。

6 女性相談センターに求める支援等について

- (1) 一時保護の実施に関して、女性相談センターに求める支援等について教えてください。
- (2) 婦人保護施設への入所措置について、女性相談センターに望むことについて教えてください。
- (3) 入所者への支援等に関して、女性相談センターに求める支援等について教えてください。
- (4) 女性相談センターとの連携で課題に感じていることを教えてください。

7 区市町村(婦人相談員)に求める支援等について

- (1) 入所時の区市町村(婦人相談員)に求める支援等について教えてください。
- (2) 施設所在地の区市町村(婦人相談員)に求める支援等について教えてください。
- (3) 区市町村(婦人相談員)の連携で課題に感じていることを教えてください。

8 民間団体との連携について

- (1) 連携可能な民間団体がありますか。ある場合は具体的に教えてください。
- (2) 民間団体との連携にあたっての課題について教えてください。

9 その他の関係機関との連携状況・課題について

- (1) 関係機関(警察・児童相談所等)との連携状況について具体的に教えてください。
- (2) 連携にあたっての課題について教えてください。

10 婦人保護施設の職員について

職員の確保・育成・定着に向け実施している内容、課題と対応策について教えてください。

11 不足する支援について

地域内で不足している支援や社会資源について教えてください。

12 その他

- (1) 施設の定員やキャパシティについて、課題に感じていること、対応策について教えてください。
- (2) 新法施行を前に、課題や意見等について教えてください。新たに取り組みたい支援がありましたら、教えてください。

婦人相談員ヒアリング

「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の検討に当たり、婦人相談員の業務内容等について、ご回答ください。

1 ヒアリング対象者について

- (1)自治体名
- (2)部署名
- (3)常勤・非常勤（会計年度任用職員）※、兼務状況
※会計年度任用職員の場合、報酬月額か、時間単価による賃金か、
1日あたりの労働時間、週当たりの勤務日数
- (4)勤務自治体における婦人相談員の配置状況
人数、常勤・非常勤（会計年度任用職員）、兼務状況
- (5)勤務年数
- (6)所有資格

2 担当業務について

(1)担当業務についてお答えください。次の業務の中でどの業務を担当していますか。

- ①電話相談 ②来所相談 ③オンライン相談 ④アウトリーチ支援
- ⑤訪問相談(訪問先：)
- ⑥同行支援(同行先：)
- ⑦一時保護施設への入所調整
- ⑧入所施設への入所調整
- ⑨関係機関との連絡調整
(関係機関：)
- ⑩証明書発行支援 ⑪保護命令申し立ての支援
- ⑫その他()

(2)相談者の主訴や属性別に、支援するうえで課題と感じていることと、どのような対応が必要と考えているかについて教えてください。

- ①DV 被害者
- ②居所のない方、生活困窮者
- ③若年女性
- ④妊産婦
- ⑤母子(同伴児童も含む)
- ⑥高齢者
- ⑦精神障害のある方
- ⑧身体的な障害を抱える方

⑨外国籍の方

⑩その他の方

3 一時保護について

(1)緊急に保護が必要となる方の対応について教えてください。

① DV被害者の場合

女性相談センターに一時保護を依頼

自治体が確保しているシェルター等で保護

その他()

② DV被害者以外の場合

女性相談センターに一時保護を依頼

自治体が確保しているシェルター等で保護

その他()

(2)女性相談センターへの保護につなげられなかったことがあった場合、その理由を教えてください。

(3)女性相談センターへの保護につなげられなかった場合は、どのように対応しているかを教えてください。

自治体が確保しているシェルターで保護

その他()

4 自立支援について

(1)「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」においては、「支援対象者が目指すべき自立においては「本人の自己決定」及び「自己選択」が重要な要素であり、支援にあたっては、支援対象者が自己決定できるよう十分な情報提供に基づく丁寧なソーシャルワークを行い、支援対象者に寄り添い一緒に考えていく姿勢が求められるとされています。

このような支援を行うためには、職場の環境や研修、その他、どのようなことが必要になると考えますか。

(2)「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」においては、自立支援の中身として、①医学的または心理的支援 ②生活支援 ③日中活動の支援 ④居住支援が挙げられています。

それぞれの自立支援の内容について、課題に考えることはどのようなことですか。どのような社会資源を活用できればいいと考えますか。医療機関等、他機関との連携や、女性の就労支援、女性のためのシェアハウスなど、もっとこういったものが活用されるといいといった支援はありますか。

5 民間団体との連携について

(1)自治体と連携可能な困難な問題を抱える女性を支援している民間団体をどのように把握していますか

- 補助金を交付又は事業を委託している団体について把握している
- 協定を締結している団体を把握している
- 把握していない
- その他 ()

(2)連携可能な民間団体がありますか。

()内には、具体的な連携内容を記載ください

(あてはまるものをすべて選択)

- 幅広い年代の女性への多様な支援を提供する団体()
- 若年女性支援団体()
- DV被害者支援団体()
- 性暴力被害者支援団体()
- 妊産婦支援団体()
- 無料低額宿泊所を運営する団体()
- 自立援助ホームを運営する団体()
- 更生施設を運営する団体()
- 宿所提供施設を運営する団体()
- 外国人の支援団体()
- 母子生活支援施設を運営する団体()
- 生活困窮者支援団体 ()
- ひとり親支援団体 ()
- その他()

6 庁外の関係機関との連携について

警察、医療機関、東京都立（総合）精神保健福祉センター等の庁外の関係機関と、こういった連携がとれると女性への支援がしやすくなると思いますか。

7 庁内の関係部署との連携について

困難な問題を抱える女性への支援は、生活困窮、高齢、障害、児童部門などが連携して支援を行う必要がありますが、どのように情報共有を図っていますか（例：定期的に婦人相談員が参加する会議がある、必要な時に、その都度情報を確認しているなど）。連携をとる際の課題はありますか。

8 職員配置等について

(1) 婦人相談員の配置について、今後このような方向性が望ましいのではないかと考えた考えは

ありますか。

- (2) 業務について必要な知識や技術を学ぶ機会がありますか。どのような研修が必要と考えていますか。
- (3) 支援をしていて精神的につらいと感じることはありますか。
- (4) 職場内でスーパーバイズを受ける体制がありますか。
- (5) メンタルヘルスケアを受ける機会がありますか。
- (6) 職場内の働き方において、改善されるとよいと思う点はどのようなことですか。
(メールや電話の使用なども含めて教えてください)

9 婦人保護施設への入所について

- (1) 婦人保護施設の入所者の生活やどのような支援を行っているかについて、どの程度ご存じですか。
- (2) 自分が担当している方が婦人保護施設に入所したことがありますか。
- (3) 婦人保護施設への入所はどのような対象の方が望ましいと考えますか。
- (4) 婦人保護施設への入所につなげられなかった場合、どういう理由でしたか。
- (5) 婦人保護施設への入所につなげられなかった場合は、その後どのように対応しているかを教えてください。
 他の施設等に入所した (施設等の種別: _____)
 自治体独自の支援事業につなげた (_____)
 その他 (_____)
- (6) 婦人保護施設に求める支援等についてお答えください。
「心理的ケア・カウンセリング」「休息・心身の回復」「基本的生活習慣の獲得」「生活技術 (調理・掃除など) の獲得」「金銭管理の補助」「対人スキルの獲得」「健康管理への支援 (服薬管理、定期的な健康診断など)」「医療機関への受診同行」「その他の医療ケア (具体的に)」「ハローワークへの同行」「就労技術の獲得の支援」「資格取得の支援」「就職試験への支援」「高校卒業資格認定資格試験への支援」等について、特にどういった支援を充実させてほしいですか。
- (7) 婦人保護施設との連携で課題に感じていることをお答えください。

10 女性相談センターに求める支援について

- (1) 女性相談センターに求める支援についてお答えください。
()には具体的な内容について記載してください。
(あてはまるものをすべて選択)
 来所相談の充実 (_____)
 電話相談の充実 (_____)
 外来での心理アセスメントの実施 (_____)
 一時保護所への円滑な入所の促進 (_____)
 一時保護期間中の支援の充実 (_____)

- 婦人保護施設への円滑な入所の促進 ()
- 女性支援事業の普及啓発 ()
- 区市町村の婦人相談員に対する研修
- 支援が困難なケースへの助言
- その他 ()

(2) 女性相談センターとの連携で課題に感じていることをお答えください。

11 その他

新法施行に向けて課題に感じていることやご意見等がありましたらお答えください。

女性相談センター（本所・支所）ヒアリング

「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の検討に当たり、女性相談センターにおける女性支援についての取組等について、ご回答ください。

1 相談支援について

相談支援(電話・来所相談)の課題と対応策についてお答えください。

(1) 相談支援のうち、まず、電話相談について伺います。

センターの電話相談はどのような特徴がありますか。また、どのような課題があると考えていますか。

(2) 相談支援のうち、来所相談について伺います。

センターの来所相談はどのような特徴がありますか。また、どのような課題があると考えていますか。

(3) そのほか、相談支援の体制等について、課題と考えていることがありますか。

2 一時保護(委託含む)について

(1) 一時保護件数が減少していますが、これについてどう考えていますか。

(2) 一時保護の入所決定までの手続き等に関して、課題となっていることがありますか。

(3) 一時保護の実施（一時保護所の運営）に関して、最も大きな課題となっていることはどういうことですか。

(4) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律施行規則」において、一時保護ができる場合の要件が規定されましたが、一時保護の実施や一時保護所の運営にどのような影響がありますか。

(5) 同伴児童への支援内容、課題についてお答えください。

(6) 通信機器の利用に関する現状と課題についてお答えください。

(7) 通勤・通学に関する取扱いの現状と課題についてお答えください。

(8) 一時保護期間中の市区の婦人相談員との役割分担について教えてください。

通院などの同行等、利用者が外出する際に同行が必要な場合は、どのように対応していますか。

(9) 一時保護所に入所した後、支援の途中で退所を希望する利用者はいますか。それはどのような理由ですか。

(10) 一方で、利用者アンケートでは「良かった」と回答される方もいると思いますが、どのような点で利用者に評価されていると考えていますか。

(11) 職員としてやりがいを感じるのはどのようなことですか。

(12) 一時保護期間中に見られる利用者の変化で、(支援者が)良かったと感じるものはどのようなものですか。そのような変化が見られる要因はどのような支援によるものと考えられますか。

(13) 一時保護期間中の利用者からの要望にはどのようなものがありますか。その要望に対しどの

ように対応していますか。

(14) 高齢福祉、障害福祉など、他法・他分野との役割分担や連携について、どのように考えますか。

(15) 外国人の方の対応について、課題に感じていることはありますか。

3 婦人保護施設への入所（措置決定）について

(1) どのような場合に、婦人保護施設の入所決定をしていますか。

(2) 一時保護所を経ないで婦人保護施設への一時保護委託から直接その委託施設に入所する、いわゆる直接入所について、利点や課題についてどのように考えているかお答えください。

(3) 都道府県の入所措置決定であることをどのように考えますか。

(4) その他、婦人保護施設への入所に関する課題や対策についても教えてください。

4 婦人保護施設に期待することについて

(1) 施設での支援（生活支援、内作業、就労支援、被害回復支援）について、どのような取組を期待しますか。

(2) 婦人保護施設退所にあたっての課題と施設に期待する支援について教えてください。

(3) 婦人保護施設の入所期間について、どのように考えますか。

(4) その他婦人保護施設に求める支援等についてお答えください。

(5) 婦人保護施設との連携で課題に感じていることについてお答えください。

5 婦人保護施設の退所後の支援（アフターケア）について

退所後の生活に関する課題と施設に期待する支援について教えてください。

東京都婦人保護施設退所者自立生活援助事業と施設で独自に実施している支援それぞれについて、教えてください。

6 取り組みたい支援について

貴センターで新たに取り組みたい支援があれば教えてください。

7 区市町村(婦人相談員)に求める支援について

(1) 区市町村(婦人相談員)に求める支援等についてお答えください。

(2) 区市町村(婦人相談員)とはどのような連携を行っていますか。

また、連携するうえで課題に感じていることをお答えください。

8 民間団体との連携について

(1) 民間団体とはどのような連携が可能と考えますか。

(2) 連携可能な民間団体がありますか。ある場合は具体的にお答えください。

(3) 民間団体との連携にあたっての課題についてお答えください。

9 その他の関係機関との連携状況・課題について

- (1) 連携している関係機関(警察・児童相談所等)について具体的にお答えください。
- (2) 連携にあたっての課題についてお答えください。

10 地域内で不足する社会資源や支援について

女性支援において、都内（区部、多摩）において不足している支援はどのようなものがありますか。医療機関等、他機関との連携強化や、もっとこういったものが活用できるといいといった支援はありますか。

11 女性相談センターの運営

情報管理や情報共有に関して、課題となっていることや対応策について、どのように考えていますか。

12 人材育成について

職員の育成について、どのように考えていますか。新法においてどのような人材が求められていると思いますか。一時保護所の職員、婦人相談員、その他の職員別に教えてください。

13 その他

新法施行に向けて課題や意見等についてお答えください。

民間団体ヒアリング

「困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画」の検討に当たり、貴団体における女性支援の取組等について、ご回答ください。

1 支援内容について

(1) 支援の対象者と内容について簡単にお答えください。

(2) 支援を行う上での課題をお答えください。

(未成年の若年女性への支援含む)

※支援を行う対象者が変化していることへの対応等

(3) 妊娠中の女性に対する支援について課題があればお答えください。

(4) 精神的な疾患や課題がある女性への支援内容や課題があればお答えください

(5) LGBTQ や外国人、身体障害者など、支援から取りこぼされやすい方々への支援実績があれば内容や課題をお答えください。

(6) (短期間の居場所の提供事業を実施している場合) 居場所事業の課題や意見を教えてください。

2 関係機関との連携状況・課題

以下の関係機関との連携状況、連携にあたって良かった点や課題についてお答えください。

(1) 女性相談センター

貴団体が女性相談センターに相談するのはどういった場合ですか。

どういった場合を想定していますか。

(2) 区市町村、婦人相談員

①どのような場合に支援対象者を区市町村へ繋いでいますか。

判断の基準や目安はありますか。

②特定の自治体との連携体制や実績はありますか。(ない場合は) 特定の自治体との連携体制の構築を希望していますか。

(3) 児童相談所

(未成年の若年女性への支援を実施している場合) 児童相談所との連携において、このような点が改善されるとより円滑に連携ができるといったことはありますか。

(4) その他

- ①民間団体ならではの強みと公的機関につなぐ際のギャップをどう考えていますか。
- ②同一の支援対象者が複数の団体に相談している場合も考えられますが、情報を共有しながら協働して支援に当たることはありますか。
- ③相談内容に応じて他のより適切と思われる民間団体につなぐことはありますか。

3 その他

- (1) 新法施行に向けて課題や意見、期待していること等についてお答えください。
- (2) 貴団体に相談している女性が求めている支援（ニーズ）はどのようなものだと思いますか。
- (3) 支援対象者や事業内容の拡大・拡充の予定はありますか。